

平成21年度 第7回 (10月) 理事会議事録

- 日 時 平成21年10月8日(木) 午後6時30分～7時59分
- 会 場 社団法人大阪府臨床検査技師会事務所
- 出席者 今井、運天、吉本、大垣、清水、荒木、田畑、高橋、出野、山田、宮野、栗本、山西、東野、(仲野)
- 欠席者 竹浦、高田、井戸田、酒井、小宮山、村上
- 議 長 今井

【討議内容】

I 行動報告 (9月分)

- 9月1日 大臨技・大放技合同フォーラム会議
清水
- 5日 大阪府糖尿病協会運営委員会
小宮山
豊中市健康展
清水
- 6日 豊中市健康展
清水
- 7日 学術部会
宮野、山西
- 8日 堺市衛生検査所精度管理専門委員会
田畑
- 9日 データ標準化専門部会・プロジェクトチーム合同会議
今井、山西、井戸田
- 10日 平成21年度救急医療功労者(団体)表彰式典
今井
- 10日 平成21年度第2回救急医療従事者研修会
今井
- 10日 理事会
今井、運天、竹浦、吉本、高田、大垣、清水、荒木、高橋、井戸田、出野、山田、宮野、酒井、栗本、山西、小宮山、東野、村上
- 11日 第1回ベースメーカー外来業務検討会
今井
- 14日 JICA 仏語圏アフリカ臨床検査技術コース「阪大病院見学実習引率」
今井
- 15日 JICA 仏語圏アフリカ臨床検査技術コース「阪大病院見学実習引率」
今井
- 15日 渉外部会
清水
- 16日 総務・会計部会
吉本、荒木、山田
- 17日 情報組織部会
井戸田、山西、竹浦
- 17日 地区事業部会
田畑、出野、栗本、
- 19日 学術講演会
高田、宮野
- 26日 JICA 仏語圏アフリカ臨床検査技術コース「中間レポート発表会」
今井、山田
- 26日 近臨技国際部海外協力委員会
今井
- 26日 会員交流会
田畑、出野、栗本、宮野
- 30日 常務理事会
今井、運天、竹浦、吉本、高田、荒木

II 経過報告

- 1. 日臨技
 - 12月に予定されている「エイズ・STI予防に関する事業」への委託依頼書が届き、委託金(30万円)の入金を確認した。
 - 日臨技共催公益目的事業の「マタニティーカーニバル2009」と「第31回献血推進活動」が承認された。
 - 日臨技事務局の勤務時間が、インフルエンザ感染予防措置として、9月24日から当分の間、午前10時から午後4時に変更となった。
- 2. 近臨技
 - 10月2日に会長会議が開催された。
 - ① 日臨技役員選挙について、近臨技として会長には、現会長の小崎氏を推薦することとした。これに伴い、各府県は極力小崎氏の推薦が望ましいが、各府県の実情に応じて推薦することとした。理事・監事の推薦は、各府県で独自に選考し、推薦者が決まれば10月末までに和臨技の村田会長に連絡することとする。
 - ② 来年度、奈畿技担当の第50回近畿医学検査学会が、平成22年12月11日(土)・12日(日)、奈良県立文化会館にて開催される。学会シンポジウムの打ち合わせ会議を平成21年12月12日(土)に行うこととする(例年と開催日程が異なる)。
- 3. 公益法人移行委員会
 - 委員会は開催されなかった。
- 4. 事務局
 - 〈総務部〉
9月18日に部会を開催した。
 - 「大臨技会報(通巻195号)」の最終校正を行った。今週中に発送の予定である。
 - 大臨技ホームページへの求人情報掲載について検討した。10月1日よりホームページ上に求人情報が掲載された。それに伴い、ホームページも新しいロゴマークが入り、一新された。
 - 大臨技行事情報の掲載時校正方法について検討した。
 - 新しいロゴマークの使用方法について検討した。
 - 大臨技ニュース9月号を発行した。
 - 大臨技ホームページを更新した。
 - 〈会計部〉
9月18日に部会を開催した。
 - 8月度収支決算書を作成した。
 - 日臨技へ8月分会費の送金を行った。
 - 近臨技へ21年度会費の送金を行った。
 - 〈渉外部〉
9月15日に部会を開催した。
 - 第1回乳癌検診推進活動の反省を行った。
 - 第5回府民健康フォーラム(10月31日)について打ち合わせを行った。検査説明コーナーや運営の最終確認は次回部会でを行う。
 - 大放技・大臨技合同フォーラムの第2回会議の説明を行った(第3回会議は10月6日)。
 - 手話講演会について打ち合わせを行った(日臨技申請書、講演会チラシ作成について)。
 - 第32回献血推進活動について内容を検討した。
- 5. 事業局
 - 〈情報組織部〉
9月17日に部会を開催した。
 - 11月7日開催予定の職域部会について詳細な内容を検討した。
 - 平成22年2月20日開催予定の技師長会について

- 内容を検討した。
- 来年度事業のあり方について議論した。
(地区事業部)
9月17日に部会を開催した。
- 健康展の今後の方向性を話し合った。
- 9月26日に開催される会員交流会について話し合った。
(学術部)
9月7日に部会を開催した。
- 理事会報告を行った。
- 9月19日開催予定の学術部講演会について最終確認を行った。
- 学会報告を行った。

Ⅲ 他、報告

1. 携帯端末の調査報告 (吉本常務理事)
 - 調査の結果、旧タイプは総務部1台、渉外部1台、情報組織部3台、学術部3台の計8台、新タイプは地区事業部2台と全部で計10台を確認した。また事務所には故障(修理不可)の4台を保管している。当初、旧タイプが20台確認されているので、再度確認の必要がある。
 - 京臨技より第49回近畿医学検査学会用として借用依頼があり、京臨技に貸し出し台数を報告するため、10月末までに各部より吉本常務理事に貸し出せる台数を報告する。来月の理事会当日(11月12日)までに事務所へ持参、13日に京臨技へ着払いにて発送する。
2. ロゴマークとバッジについて
 - 単価 2000 円のバッジを 35 個製作することとする(予算内)。
3. 会員交流会報告 (出野理事)
 - 参加者は、会員29名、非会員4名、賛助会員2名の合計35名であった。
 - 大型漁船による体験乗船遊覧も参加者大変好評であった。
4. 摂津市健康展について (栗本理事)
 - 摂津市が外郭団体を作り運営している健康展が、11月15日に開催される。
 - 今年度は大臨技として協力するが、ボランティアのことも含め来年度以降の協力は、地区事業部で再度検討する。
5. 大阪府地域医療推進協議会 (今井会長)
 - 10月22日に大阪府地域医療推進協議会が開催される。
 - 大阪府への要望として、大臨技は大阪府看護協会と合同で、「看護の日」の財政支援をお願いすることとした。
6. ベースメーカー外来業務検討会報告
 - 9月11日にフクダ電子近畿販売(株)主催の「第1回臨床検査技師の立場から見たベースメーカー外来業務検討会」が開催された。今井会長、竹浦副会長、高田常務理事が出席した。詳細な報告は、高田常務理事より次回の理事会にて行う。
7. 日臨技主管の総合管理部門研修の企画運営
 - 大臨技に対し、日臨技総合管理部門より日臨技主管の総合管理部門の企画運営の委託があった。平成22年10月か11月に開催予定、予算は920,000円とし、大臨技事業の調整をした上で、大臨技として受託する方向で検討することとする。
8. その他
 - 1) データ標準化
 - 10月13日(火)から始まるデータ標準化サーベイ

- に、約90施設より申込みがあった。しかし、申込み施設の内6施設が非会員施設であった。当初より、非会員施設の申込みに関し、どのように対応するか理事会でも討議していたが、大臨技への加入にも繋がるということで受け入れてはという意見もあった。非会員を受け入れないのは、データ標準化という本来の趣旨にも反するものであり、今回は受け入れることとした。
 - 来年度より、Webでの申込み時に、会員番号も必須項目として付け加えることとした。
- 2) 手話講演会
 - 平成21年12月5日(土) 14:00~16:00 大阪府教育会館たかつガーデンにて開催。
 - テーマは「目で聞くコミュニケーション手話の魅力」、講師は昨年同様、多田京子先生。
 - 日臨技共催公益目的事業企画申請書を提出した。
 - 3) 合同フォーラム
 - 第3回合同会議が開催(10月6日)された。
 - 平成22年1月16日(土) 13:00~17:00 大阪府医師協同組合新本部ビル8階大ホールにて開催。
 - テーマは「打倒!乳がん 一早診つけて、早治そうー」
 - 予算は130,000円とし、チラシ完成後、大放技は大阪府、大臨技は大阪市にそれぞれ後援申請を行う。
 - 広報として、新聞社と地下鉄車内等に広告掲載依頼を行う予定である。

Ⅳ 議題

1. 日臨技役員選挙について
 - 会長として、現会長の小崎氏(埼玉県)、現副会長の才藤氏(千葉県)、現理事の高田氏(北海道)が立候補し、各立候補者より大臨技に推薦要請状が届いているが、推薦期限までに大臨技としての意思決定をする余裕がなかったため、今回は大臨技としては、会長の推薦はしないこととし、各会員の意思で投票してもらうこととした。
 - 副会長として、現日臨技副会長の富永氏(兵庫県)、現日本臨床検査技師連盟会長の小沼氏(東京都)、現日臨技理事の米坂氏(神奈川県)が立候補し、大臨技に推薦要請状が届いている。大臨技としては、役員メール会議でも賛成多数によりすでに承認済みである富永氏を推薦することとした。副会長選挙は代議員による間接選挙である。
 - 理事・監事の推薦として、すでに日臨技地区担当理事の森嶋氏より立候補の表明があった。大臨技理事からの立候補者ならびに推薦者はいないため、大臨技からの森嶋氏の推薦について、森嶋氏に今後も引き続き日臨技の情報提供してもらうことを条件として、常務理事会で再度検討することとした。
 - 大臨技ニュース11月号の「うめくさ編集後記」に、会長選挙は各会員による直接選挙であるため、棄権しないように投票を促す広報を行う。
 - 日臨技より都道府県選挙管理者の選出要請があり、今井会長を推薦することとした。
2. 日臨技公益委託
 - 「エイズ予防に関する事業」について
 - 日臨技公益委託事業の一環として、「エイズ予防に関する事業」を、12月1日のエイズデーに合わせ、11月28日から12月末日までに行うこととした。
 - 当事業の開催日程は、12月5日(土)に、手話講演会会場「たかつガーデン」周辺と、同日開催の大臨技中央支部自由集會会場である「成人病センター」最寄りの森ノ宮駅周辺の2箇所、12時半から13時半に開催することとした。これに伴い警察に道路使用許可をとる。
 - 昨年度実施の大型ビジョンによるキャンペーン動画の放映は取り止めとなったため、公共機関でのポスターの掲示およびティッシュ(1000個)の配布を行うこととした。